

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

評価対象年度	2015年度		
施設名	町田市美術工芸館		
所在地	町田市忠生3-6-22		
施設ホームページURL			
指定管理者名	社会福祉法人 まちだ育成会	法人番号	3012305000456
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番地1		
指定期間	2015年4月1日～2020年3月31日		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

2. 施設概要

設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、利用者一人ひとりの社会参加と自立した生活を支援していく事を目的とする。
設置根拠法令・条例	町田市授産センター条例
施設概要	<p>【施設概要】</p> <p>(1)敷地面積 1,999.93㎡(東京都との無償貸付契約)</p> <p>(2)施設の構造 鉄筋コンクリート造2階建て</p> <p>(3)施設の面積 989.16㎡(1階美術工芸館部分)</p> <p>(4)施設の開設年月 1981年5月</p> <p>【事業概要】</p> <p>(1)町田市美術工芸館(以下「美術工芸館」という。)の事業の実施</p> <p>(2)障害者総合支援法に規定する就労継続支援事業を行うこと。</p> <p>(3)就労継続支援事業の利用契約書及び重要事項説明書等に対する承諾に関すること。</p> <p>(4)利用料の收受に関すること。</p> <p>(5)美術工芸館の施設及び設備の維持管理に関すること。</p> <p>(6)事業報告書の提出に関すること。(年1回以上の提出)</p>

3. 昨年度の課題

内容	施設での作業の様子やイベント等の外部への情報発信が不十分であり、ホームページや広報誌などでの情報発信が必要である。また、順調にご利用者数が増える一方で、増えた分の工賃の確保が課題である。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、昨年度の課題への対応等)	<p>指定管理者が行う業務において、障害種別に関わらず共通のサービスを利用者に提供する必要がある。町田市美術工芸館では、利用者処遇において、利用者の意見や要望を聞く機会を多く持ち、個別支援計画の中に作業、生活、余暇支援等を取り込み、多様なニーズに対応できるようにし、利用者が満足でき、かつ目標を達成できるような支援を行っていた。また、地域に開かれた施設運営を図るよう、地域社会活動等への参加を積極的に図っていた。2014年度の課題とされたホームページでの情報発信は準備を進めている段階で、2016年度中には公開予定である。その他、施設の運営管理、法令順守などは業務仕様書、基本協定書、年度協定書に基づき誠実に実施されており、全般的に良好な運営が行われていた。工賃確保については、単価の見直しにより、増加分をすべてカバーするには至らないものの、改善はされている。</p>	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信は準備を進めている段階で、2016年度中には公開予定である。 ・工賃の確保は課題が残るが、受注品の価格の改正などにより工賃は昨年度同額を確保できた。 ・課題であった広報誌は2回の発行ができたが、ホームページでの情報発信はできなかった。 ・送迎車の増車(2台→3台)により、利用希望や送迎時間等に十分に配慮できるようになった。 ・ノー残業デーの実施と、職員作業の一部外注など、職員の残業時間の削減に取り組んだ。 	

5. サービスの質に関する評価

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用者満足度	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	80%	83%	B	【調査期間】 2016年3月 【配布枚数】 61枚 【回収枚数】 54枚 【回収率】 89% 【調査方法】 第三者評価の利用者満足度調査を基にした独自調査を施設内職員により聞き取り、集計しています。
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	83				
達成率	103%				

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
送迎サービス実施率	A:希望者の95%以上 B:90%以上～95%未満 C:90%未満	93%	100%	A	利用者及び保護者からの要望の強い、送迎サービス事業については、利用希望者全員の送迎サービスの継続。 希望者 27人(内3名法人内他施設) 実施者 27人(内3名法人内他施設) 待機者 0人
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	93	93	93	93	93
実績値	100				
達成率	108%				

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
自主事業開催回数	A:12回以上 B:10回以上11回以下 C:9回以下	12回	15回	A	送迎サービス(開所日は毎日実施) 休日活動 ・余暇活動(年9回実施) ・美エフェスティバル(年1回実施) ・宿泊訓練(年2回) ・イベント参加(年3回実施)
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	12	12	12	12	12
実績値	15				
達成率	125%				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	自主事業として実施している送迎事業は、送迎ニーズの急激な増加に対応している。休日活動は、利用者の休日の過ごし方の幅を広げるサービスとして、利用者及び保護者からも高い評価を得ている。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否	判定コメント
平等利用の確保	施設の設置目的に沿ったサービスを平等に提供しているか	個別支援計画の作成	利用者ごとに個別支援計画が策定されていた	適	一人ひとりに適したサービスの提供ができるよう面談を行い、個別支援計画書が策定されていることを現地調査にて確認した。
	利用者からのモニタリングを実施しているか	利用者アンケート及び会議	必要に応じて利用者との会議を開催している。また職員面談時に施設への意見要望を聞き取っている。	適	利用者との会議では作業の選択や余暇活動の希望を聞き取り、反映していることを現地調査にて確認した。
施設の運営方針・管理方針	設備機器の安全確認・保守点検	年1回以上の実施	昇降機点検：月1回 消防設備点検：年2回 電気保守点検：年6回 水質検査：年1回 冷温水機点検：年2回 貯水槽清掃：年1回	適	各点検の結果報告書を現地調査にて確認した。
	施設と法人本部の連携	経営会議・運営会議の開催	経営会議・運営会議：毎月1回	適	経営会議及び運営会議の資料を現地調査にて確認した。
自主事業	休日活動の実施	年間10回の実施	15回の実施	適	事業報告書および年間行事予定表を現地調査にて確認した。
	送迎事業の実施	希望者の95%以上の送迎	希望者全員を送迎 2015年度：美工24人、他施設3人	適	リース車両の追加により3台体制となった。希望者は全員送迎していることを現地調査にて確認した。
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規定の整備	情報公開規定が整備されていた	適	情報公開規定が整備されていることを現地調査にて確認した。
	適切な取扱	施錠された書庫で保存	鍵のついた書庫での管理と施錠	適	施錠管理およびデータの適切なアクセス制御管理が適用されていることを現地調査にて確認した。
苦情対応	事故トラブルの未然防止	ヒヤリハット台帳の作成	ヒヤリハット記録簿を作成し、職員ミーティングで共有している	適	事業報告書および現地調査にて確認した。
	苦情対応記録	苦情発生の抑制と迅速な対応	苦情相談ポストの設置	適	事業報告書および現地調査にて苦情相談ポストが設置されていることを確認した。
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練を年2回以上	避難訓練：1回 防災を想定した施設宿泊訓練：2回	適	事業報告書および現地調査にて確認した。
	各種保険への加入	傷害保険への加入	事故やけがに対応可能な傷害保険へ加入している	適	必要な内容の保健に加入していることを現地調査にて確認した。
人的安定性	職員研修	年間16回の実施	内部研修3回・外部研修13回に参加	適	事業報告書および現地調査にて確認した。
	職員配置	法律の人員配置基準（利用者7.5人に1人）	利用者4.9人に1人を配置	適	国の基準以上に職員を配置していることを事業報告書にて確認した。

管理経費の縮減	経費の適正執行	価格情報の把握	消耗品のインターネット購入	適	価格情報の調査、相見積による節減に努めていることを現地調査にて確認した。
	管理経費の縮減	節電の推進	施設内外の一部消灯。紙や段ボールはリサイクル買取業者に持ち込んでいる。	適	節電の推進、リサイクル買取業者への持込みを積極的に実行していることを現地調査にて確認した。
地元貢献	地域との交流	地元町内会等との交流	回数：年4回	適	事業報告書および年間行事予定表を現地調査にて確認した。
	地産地消	地元野菜の利用	給食に利用	適	給食に地元野菜を取り入れていることを現地調査にて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位：千円

項目	2015		2016		2017		2018		2019	
	予算	決算								
収入	指定管理料	91,154	86,670	94,729		98,304		101,878		105,453
	利用料金	5,339	5,278	5,548		5,758		5,967		6,176
	授産事業	11,000	14,906	11,500		11,500		12,000		12,000
	その他	9,442	3,262	9,681		9,920		10,159		10,398
	サービス活動外	0	3,110	0		0		0		0
	特別増減	0	0	0		0		0		0
	施設整備等	0	0	0		0		0		0
	財務活動	0	0	0		0		0		0
	計	116,935	113,226	121,458	0	125,482	0	130,004	0	134,027
支出	人件費	74,880	67,250	76,003		80,143		81,345		85,565
	維持管理経費	16,932	14,892	17,545		18,218		18,831		19,504
	自主事業	9,852	15,172	10,152		10,102		10,452		10,352
	その他	9,967	185	10,116		10,667		10,827		11,389
	サービス活動外	0	1,805	0		0		0		0
	特別増減	0	11,055	0		0		0		0
	施設整備等	0	0	0		0		0		0
	財務活動	0	0	0		0		0		0
	計	111,631	110,359							
総計(収入-支出)	5,304	2,867	121,458	0	125,482	0	130,004	0	134,027	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表団体を記載する。

単位：%

	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	-50.1				
負債比率	11.7				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果	所管課所見
適	美術工芸館単体では黒字であり、問題ないと判断する。 法人本部経常利益については、前年度グループホーム資金を本部会計にて4,200万円を繰越し、本年度グループホーム会計へ資金移動を行ったため大きなマイナスとなっているが、当年度末支払資金残高はプラスとなっているということで問題ないと判断する。